

法人理念・方針

「基本理念」

ご利用者の「健やかな生活」の実現のため、心をこめた福祉サービスを全力で実行します。

「基本方針」

基本理念を実現するための福祉サービスとして、人権の尊重を基本とし、お一人おひとりが「その人らしい普通の生活」を主体的に過ごせるよう支援と援助を提供します。

経営基盤の安定の為の5つの視点「利用者視点」「財務視点」「人材確保と育成」「地域貢献の推進」「ガバナンス体制の強化」に基づき、全事業所、セクションで統一した事業目標、事業計画の作成を行い、法人全体でベクトルを合わせた事業展開に取り組む。

事業所、部署	重点目標項目
法人本部	<p>(1) 利用者視点 法人内各事業所において、ご利用者への質の高いサービスの提供、接遇の実践を図り、他にはない独自性、特色あるケア（オムツゼロ、常食化、ターミナルケア、認知症ケア、ご利用者の外出支援等）の実現に向けて、チームケアに取り組んでいく。また、提携医療機関との連携を図り、法人内サービスの付加価値の創造に取り組んでいく。</p> <p>(2) 財務視点 介護保険法、障害者総合支援法改正による報酬改定に迅速に対応し、安定経営に向けた対策の実践を図る。また、法人内各事業所等において、安定経営に向けた利用稼働率の向上、新規加算の取得及び適正な予算執行管理に取り組んでいく。</p> <p>(3) 人材確保と育成 職員のワークライフバランスの推進（時間外勤務の減少、有給消化率の向上等）に取り組むとともに、法人内研修、各事業所での新人育成プログラム（プリセプター制度等）の充実、評価育成制度を活用した職員のモチベーション向上を図り、職員がやりがいを持って働きやすく、魅力のある職場環境への改善と職員の待遇改善に取り組む。また、職員確保に向けた養成機関との連携力の強化を図るとともに、幅広い知識、スキル、経験を持った人材の育成に取り組み、組織力の強化を図る。</p> <p>(4) 地域貢献の推進 法人独自の取り組みとして、認知症状改善塾の開催、石山朝市送迎バスの運行、地域住民、小・中・高校生へ福祉教育の推進、介護なんでも相談会の実施を継続するとともに、さらに幅を広げた地域社会への貢献活動の推進を図る。</p> <p>(5) ガバナンス体制の強化 理事会、評議員会、苦情解決・虐待防止第三者委員会を適正に運営し、透明性の高い法人運営を推進する。また、各種法・制度内容に基づく、法人運営状況の精査と内部牽制体制の構築及び顧問契約先の会計事務所、社会保険労務士からの助言、指導を得て、コンプライアンス経営の推進を図る。その他、法人理念、方針を職員への目的意識へと醸成し、法人全体で一丸となって事業運営を推進するとともに、自浄作用の働く組織作りに向けた職員間のコミュニケーションの強化を図る。</p>
法人統括事業推進課	<p>(1) ご利用者へ直接接する職員以外の職種についても、法人のサービス理念、方針を理解し、質の高いサービスの提供の一端を担う為の意識向上を図る。</p> <p>(2) 経営の安定化に向けた経営実績（事業稼働実績）の管理を行うとともに職員個々の経営意識の向上及び行動変革の推進を図る。</p> <p>(3) 事務部門に人事採用担当を配置し、職員採用に向けた求人状況の把握、対応の一極化を図り、シンプル且つ迅速に求人活動を実施する。</p> <p>(4) 法人の認知度向上に向けた地域貢献活動として、小・中・高校生への出前講座（福祉教育）を実施するとともに、法人内で実践する地域貢献活動の運営支援を行う。</p> <p>(5) 関係法令に基づくコンプライアンス経営の推進を図り、札幌市指導監査等への適切な対応を図ることができる組織力の強化に取り組む。</p>
事務・管理	<p>(1) 事務喫茶等、ご利用者へのサービス提供の一端を担う取り組みを実践するとともに、法人窓口として、ご利用者、ご家族へ適切な対応ができるよう多職種協働に参画する。</p> <p>(2) 法人全体の収支状況を的確に把握し、各事業所の予算執行状況等の情報提供を行い、予算の適正執行に努める。また、業務効率化のためのシステム構築、物品コストの節減等に取り組んでいく。</p> <p>(3) 平成28年度より人事採用担当職員を配置し、福祉・医療関係養成校との関係構築に取り組む。また、職員個々の目標達成及び働きやすい職場環境の整備に向け、職員との面談を行うとともに、研修への参加促進及び会議等での研修報告の徹底を図り、事務部門全体の専門性向上に努める。</p> <p>(4) 地域の清掃活動等への積極的参加と新たな貢献活動の検討に取り組む。</p> <p>(5) 個々の業務に対する職員同士での内部監査及び外部監査の実施と個人情報漏洩を防ぐ為の取扱い事務の徹底及びシステムの改善を図る。</p>

<p>医務室</p>	<p>(1) 配置医師、協力医療機関との連携を強化し、ご利用者への質の高い医療サービスの提供に取り組むとともに、ターミナルケアの充実を図る。また、ご利用者・ご家族から信頼される接遇の実践に取り組む。</p> <p>(2) 節約委員会を中心とした消耗品等の節約に取り組むとともに、安全・安心に配慮したうえで他職種と協働し、ベッドコントロールの改善を図る。</p> <p>(3) 職員個々の役割を明確にし、個々の能力が発揮できる環境を整備するとともに、専門性の向上に向けた研修への参加を促進する。また、ストレスを溜めない職場環境の整備を図る。</p> <p>(4) 地域の清掃活動への参加や地域行事等での救護班等としての参加・協力を行う。</p> <p>(5) 職員全員で法人理念、方針の理解を深め、行動する。</p>	
<p>栄養課</p>	<p>(1) 委託業者との連携による質の高い食事の提供及びご利用者個々のアセスメント、ケアプラン、栄養ケアマネジメント、そして要望に沿った食事の提供に努める。</p> <p>(2) 両施設における栄養ケアマネジメントの実施（加算取得）と委託業者との連携による適正な支出管理に努める。</p> <p>(3) 研修会、勉強会に積極的に参加し、専門性の向上に努める。また、委託業者を含めた職員間の連携を密にし、関係の強化に取り組む。</p> <p>(4) 在宅ご利用者、ご家族、地域住民等の栄養相談に対応する。</p> <p>(5) 関係法令に基づき、衛生管理体制を強化することで、安心、安全な食事提供を行う。また、多職種協働体制での栄養マネジメントの強化を図る。</p>	
<p>訓練室</p>	<p>(1) 理学療法士・作業療法士としての専門性の向上と医学的な管理の下でのご利用者個々に応じたりハビリテーションの実施及び集団活動による精神面の活性化を図るとともに補装具、自助具、福祉用具の適切な利用の促進に努める。また、両施設での特色あるケアの実践や身体拘束廃止、事故防止、虐待防止等のリスク対応に取り組む。</p> <p>(2) 両施設におけるリハビリテーションプランの作成（加算取得）に取り組むとともに、節約意識の向上、コスト管理を徹底し、コスト節減に努める。</p> <p>(3) 両施設に配置されている理学療法士・作業療法士間の情報交換、知識・技術の研鑽を図るとともに、各々の強み、弱みを共有し補うことで、精神的な負担を軽減し、働きやすい職場環境の整備に努める。また、他職種に対し専門職としての情報提供、技術伝達を行い、施設全体の介護技術の向上に取り組む。</p> <p>(4) 地域社会に対し、自らの職種を活かした情報提供等の協力・援助を行う。また、理学療法士養成校からの実習受入れを行い、医療・福祉職の育成に取り組む。</p> <p>(5) 法人、各施設の理念、方針を共有し、業務を遂行するとともに、関係法令に基づき、各種加算やサービス提供に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行に努める。</p>	
<p>グリーンハイム拠点</p>	<p>障がい者支援施設グリーンハイム</p>	<p>(1) ご利用者の個別支援に向け、個々のニーズ、生活に沿ったケアの実践を図るため、グループケアの充実とケアプランの質の向上に取り組む。また、ご利用者に安心いただける医療体制の強化を図るとともに、事故防止、虐待防止、身体拘束廃止、感染症対策に取り組む。さらに、ご利用者の外出支援の充実を図る。</p> <p>(2) 目標実績である施設平均利用者数99.0名（稼働率99.0%）、短期入所平均利用者数3.4名（稼働率85.0%）を目指し、稼働率向上施策に取り組むとともに、各種加算の取得にも取り組んでいく。また、収入実績管理、支出予算執状況管理を行うとともに、業務の効率化を図り、時間外勤務の削減に取り組む。</p> <p>(3) 評価育成制度に基づき、職員間のコミュニケーションを充実し、モチベーションの向上を図るとともに、働きやすい職場環境を整備する（有給取得推進、資格取得支援等）。また、新人職員教育プログラム、各種マニュアルの整備を図り、計画的な職員育成に取り組む。さらに、福祉職養成校との連携を強化し、実習生の受入れ等による福祉人材の育成及び施設職員としての採用へと繋げる。</p> <p>(4) 地域課題となる虐待ケース、緊急保護ケースに対する受入れ対応を継続する。また、地域住民や小・中・高校生への福祉教育に向けた出前講座、施設見学会等を実施する。</p> <p>(5) 法人、施設理念を共有し、施設職員としての組織力の向上に努めるとともに、関係法令に基づき、各種加算やサービス提供に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行に努める。</p>
	<p>生活介護事業所グリーンハイム 日中一時支援事業所グリーンハイム</p>	<p>(1) ご利用者・ご家族との信頼関係を構築するとともに、関係機関との連携を密に図り、幅広い年齢層、異なる障がい種別のご利用者個々のきめ細かなニーズに応じた個別支援計画の作成及び支援の提供に取り組む。また、事業所内の設備、備品を整備し、ご利用者の利用しやすい環境の整備に努める。</p> <p>(2) 目標実績である平均利用者数14.0名を目指し、各関係機関（養護学校、法人内他事業所等）との連携を強化する等、稼働率向上施策に取り組む。また、職員全員のコスト意識向上を図り、経費節減、適切な物品管理、予算執行状況の管理に努める。</p> <p>(3) 評価育成制度に基づき、職員間のコミュニケーションを充実し、モチベーションの向上を図るとともに、働きやすい職場環境を整備する。また、新人職員教育プログラム、各種マニュアルの整備を図り、事業所全体で計画的な職員育成に取り組む。また、職員個々の状況に合わせた役割・業務の分担を行うとともに、研修への参加を促進する。</p> <p>(4) 地域住民や小・中・高校生への福祉教育に向けた出前講座、職場見学会等を実施する。また、地域の行事等へ参加し、地域交流を図る。</p> <p>(5) 関係法令に基づき、各種加算やサービス提供に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行に努める。</p>
	<p>相談支援事業所グリーンハイム</p>	<p>(1) 多様な相談、あらゆる障がい種別に対応できるよう、相談支援従事者としてのさらなる専門性の向上と関係機関等とのネットワークの構築を図る。</p> <p>(2) 目標実績である月平均計画・モニタリング件数50件、地域移行計画5件の達成に向けた相談ケースの確保施策の実践とコスト管理の徹底を図る。</p> <p>(3) 様々な相談支援を通じて生まれるジレンマ、精神的な負担を軽減する為、定期的なケースカンファレンス、個人面談等を実施するとともに、日々の業務において相談し合える関係づくり、風土作りに取り組んでいく。</p> <p>(4) 札幌市自立支援協議会南区地域部会の運営や札幌市地域運営会議への参画等を通じて、障がいをお持ちの方が過ごしやすい町づくりに取り組む。</p> <p>(5) 関係法令に基づき、支援に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行に努める。</p>

和幸園拠点	特別養護老人ホーム和幸園	<p>(1) ユニットケアの良さが活かされるような個別ケア体制の強化に取り組むとともに、「おむつゼロ」「食事の常食化90%」「ターミナルケア」等の特色あるケアの継続実践に取り組んでいく。また、在宅への復帰を念頭に自立支援を目指したケア、環境整備に取り組んでいく。さらに、褥瘡予防、介護事故予防、感染症予防、身体拘束廃止、虐待防止に継続して取り組む。</p> <p>(2) 目標実績である施設平均利用者数117.5名(稼働率97.9%)、短期入所平均利用者数17.0名(稼働率85.0%)を目指し、稼働率向上施策に取り組むとともに、各種加算の取得にも取り組んでいく。また、職員のコスト意識の向上を図り、経費節減に取り組む。</p> <p>(3) プリセプター制度及び新人研修を通じて、新人職員の育成に取り組むとともに、職員の定着率向上に向け、評価育成制度を活用した職員間のコミュニケーションの充実を図り、働き甲斐のある職場環境の整備に努める。また、職員の資格取得に向けた研修会、勉強会を実施し、資格取得支援に取り組む。</p> <p>(4) 地域課題となる虐待ケース、緊急保護ケースに対する受入れ対応を継続する。また、認知症状改善塾の開催及び地域住民や小・中・高校生への福祉教育に向けた出前講座、職場見学会等を実施するとともに、介護職員等養成校からの実習受入れを行い、福祉人材の育成に取り組む。その他、地域行事、地域清掃等への参加・協力に取り組む。</p> <p>(5) 関係法令に基づき、各種加算やサービス提供に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行に努める。</p>
	和幸園デイサービスセンター	<p>(1) 和幸園で実践し効果を上げている基本ケアの知識を全職員が習得し、専門性を高めるとともに介護技術の向上を図る。また、ご利用者個々の個別性を踏まえた個別ケアの実践に取り組む。さらに、ご利用者の担当制を継続し、的確な情報収集、ニーズ把握を行い、事業所として質の高いサービス提供に努める。</p> <p>(2) 目標実績である平均利用者数34.0名を目指し、各関係機関との連携を強化する等、稼働率向上施策に取り組む。また、職員全員のコスト意識向上を図り、経費節減、適切な物品管理に取り組むとともに、職員の適正配置及び業務の効率化を図り、さらなる時間外労働の削減に取り組む。</p> <p>(3) プリセプター制度による新人職員の育成に取り組むとともに、中堅職員に対しては資格取得や知識・技術の向上に向けた研修会、勉強会への参加を促進する。また、有給取得率の向上を目指す等、働きやすい職場環境の整備に努める。</p> <p>(4) 地域の幼稚園との交流や地域住民や小・中・高校生への福祉教育に向けた出前講座、職場見学会等を実施する。その他、地域行事、地域清掃等への参加・協力に取り組む。</p> <p>(5) 関係法令に基づき、各種加算やサービス提供に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行に努める。</p>
	地域事業部	<p>(1) どのような方でも可能な限り在宅生活を継続できるよう、情報収集、自己研鑽に努め、ニーズに即応できる事業所運営に努める。</p> <p>(2) 地域事業部各事業所において、事業実績の向上を目指すとともに、時間・モノはコストという意識を持ち、業務の効率化、経費節減に取り組む。</p> <p>(3) 多様な職種、雇用形態の職員に対し、各々の役割を明確にし、職員育成を推進するとともに、有給消化率の向上、ノー残業ダイの実施等、職員の負担を軽減する施策へも取り組んでいく。</p> <p>(4) 法人内各事業所と連携し、石山朝市バスの運行、地域住民との懇談会を継続するとともに、地域にお住まいの介護予防対象者及び要支援、要介護者やそのご家族、町内会等に対し、講演会等を行い、福祉、介護に関する情報発信を行う。</p> <p>(5) 関係法令に基づき、各種加算やサービス提供に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行を行うとともに、各種委員会・会議での決定事項に対し、職員一丸となって取り組むことができる組織の構築に取り組む。</p>
地域事業部拠点	和幸園居宅介護支援事業所	<p>(1) 緊急時における迅速な対応、支援困難ケースの積極的な受入れ等を行い、専門性の高いケアマネジメントを実践する。</p> <p>(2) 目標実績である月平均要介護件数175件、要支援ケース40件の達成に向けた新規ケースの確保施策の実践、ケアマネジメント向上による在宅生活継続期間の延長に取り組むとともに、業務効率化による時間外労働の削減、支出予算執行状況の管理、経費削減に努める。</p> <p>(3) 評価育成制度の活用、スーパービジョンを実施するとともに有給消化率の向上、資格取得支援を行い、働きやすい職場環境の整備に努める。また、専門職としての面接技術の向上、ケアプラン内容のレベルアップを図るための勉強会、研修会を実施し、計画的な職員育成に取り組む。</p> <p>(4) 地域との結びつきを強くするため、石山朝市や近隣商店の利用、地域の清掃活動への参加を促進する。また、地域住民が相談しやすい地域密着型の相談機関を目指すための環境整備を行う。</p> <p>(5) 関係法令に基づき、各種加算、支援に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行を行うとともに、プライバシーの保護と秘密保持に向けた必要な措置、研修会の実施に取り組む。</p>
	和幸園・グリーンハイムホームヘルプサービス事業所	<p>(1) ご利用者が、住み慣れた地域で人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送れるよう支援する。</p> <p>(2) 介護保険、障がい福祉サービスともに、目標実績の達成に向け、どんな支援困難ケースであっても柔軟に対応し、信頼され頼りにされる事業所となることを目指し、事業所運営を推進するとともに、さらなるサービスの質向上に取り組む。また、職員一人ひとりがコストを意識した業務遂行ができるよう努める。</p> <p>(3) 仕事へのモチベーションを保ち、業務に対する達成感を感じられる職員育成に取り組むとともに、職員に対しても「目配り」「気配り」「思いやり」を持つことで、職員が生き生きと笑顔で活躍できる職場環境の整備に努める。また、職員交流レクリエーションの充実を図り、チーム力の向上と職員の働く意欲向上へと繋げる。</p> <p>(4) 「生きること」を支援する介護のプロを育成することで、地域福祉の発展に努める。また、地域の中でも「目配り」「気配り」「思いやり」の気持ちを持ち行動することで、地域から信頼され、選ばれる事業所を目指す。</p> <p>(5) 法人、事業所の理念、方針の実現に向け、職員の意思統一を図り、ご利用者個々の状況に合わせたきめ細やかなサービスを提供する。また、職員個々が、法人及び事業所職員としての誇り、自信を持つとともに、定期的なカンファレンス等により情報・意識を共有し、組織力の向上に努める。さらに、関係法令に基づき、各種加算、サービス提供に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行に努める。</p>

地域事業部拠点	<p>芸術の森デイサービスセンター 「のえるの森」</p>	<p>(1) 重度の認知症であっても、可能な限り在宅での生活ができるように、民家改修型小規模デイの特色を活かし、馴染みの職員、安心できる環境を整備し、専門性の高い認知症ケアを実践する。</p> <p>(2) 目標実績である平均利用者数9.5名を目指し、各関係機関との連携を強化する等、稼働率向上施策に取り組む。また、職員全員のコスト意識向上を図り、経費節減、適切な物品管理に取り組むとともに、業務の効率化を図り、時間外勤務の削減に努める。</p> <p>(3) 評価育成制度によるモチベーション向上と職員個々の目標達成のための面談を実施する。また、多様な認知症状に対し、根拠のあるケアが実践できるように、知識、介護技術、コミュニケーション技術等の向上を目指した研修の参加を促進するとともに、会議等での研修参加者の報告等を実施し、事業所全体での資質向上に取り組む。</p> <p>(4) 地域住民や小・中・高校生への福祉教育に向けた出前講座、職場見学会等を実施する。その他、地域行事、地域清掃等への参加・協力に取り組む。</p> <p>(5) 法人、事業所の理念、方針の実現及び法人全体での取り組みを理解し、法人職員の一員として責任感を持って行動できるよう組織力の向上に努める。また、関係法令に基づき、各種加算、サービス提供に係る記録等、基準に基づいた書類整備、業務遂行に努める。</p>
	<p>札幌市南区介護予防センター 石山・芸術の森</p>	<p>(1) 介護予防の目的を地域の関係機関等と共有し、地域に最も近い相談窓口として総合的な相談支援を実施する。</p> <p>(2) 札幌市の委託事業として、予防センターの役割を十分に発揮できるよう地域とともに地域福祉の発展、介護予防の推進に取り組む。また、コスト意識向上を図り、経費節減、適切な物品管理に努める。</p> <p>(3) 地域の相談窓口として、相談員等の資質向上に取り組む。</p> <p>(4) 地域の関係機関、法人との連携による各種介護予防、地域福祉発展のための事業を実施する。また、石山地区福祉のまち推進センター等との連携による「お茶の間懇談会」を継続するとともに、地域のサロン等での講師を務める等、地域福祉の発展に取り組み、介護予防センターの役割の情報発信、地域ニーズの把握に努める。</p> <p>(5) 区役所、地域包括支援センター等の関係機関と目的を共有し、常に情報交換を行えるよう連携を図っていく。また、札幌市委託事業として、予防センター運営に関わる記録、書類の整備を行うとともに適正な事業運営に努める。</p>